

【参考情報】 海外在住の研究者が利用可能な日本のファンディングプログラム

2025年4月

日本医療研究開発機構、日本学術振興会、科学技術振興機構

注：本情報は今後変更される可能性があるため、最新の情報は各事業・プログラムのホームページ等で確認いただきたい。

【海外の研究機関に所属したまま応募・利用可能】

- さきがけ  
海外研究機関に所属している日本国籍をもつ研究者は、海外機関に所属したままさきがけに応募可能。この場合、海外機関は、原則として JST が提示する内容で研究契約を結ばなければならない。  
事業 HP：<https://www.jst.go.jp/kisoken/presto/index.html>  
問い合わせ先：[rp-info@jst.go.jp](mailto:rp-info@jst.go.jp)  
2025年募集：未定（例年は4月上旬～6月上旬頃）
- CREST  
海外機関に所属している研究者（国籍不問）を、日本のCREST研究代表者の下に、「主たる共同研究者」として加えることが必要不可欠と提案書で認められた場合、当該海外研究機関にJST から研究費を提供することが可能（例外的な対応）。この場合、海外機関は、原則として JST が提示する内容で研究契約を結ばなければならない。  
事業 HP：<https://www.jst.go.jp/kisoken/crest/index.html>  
問い合わせ先：[rp-info@jst.go.jp](mailto:rp-info@jst.go.jp)  
2025年募集：未定（例年は4月上旬～6月上旬頃）
- 海外特別研究員  
海外特別研究員制度は、我が国の学術の将来を担う国際的視野に富む有能な研究者を養成・確保するため、優れた若手研究者を海外に派遣し、特定の大学等研究機関において長期間研究に専念できるよう支援する制度。日本国内の大学等に所属せず、海外等の大学で研究を行っている場合は個人申請が可能。  
事業 HP：<https://www.jsps.go.jp/j-ab/index.html>  
問い合わせ先：[kaitoku@jsps.go.jp](mailto:kaitoku@jsps.go.jp)  
2025年公募：2月3日～5月12日（例年2月上旬応募開始～5月中旬頃応募締切）

- 医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業（Interstellar Initiative）

独創的なアイデアを持つ若手研究者を世界中から公募し、3名1組の研究チームを編成したうえで、研究チームはメンターの指導のもと、ワークショップや予備実験を通じて、研究構想を発展させ、独創的・革新的な研究シーズを創出するための研究計画の立案を目指す。

※国籍や居住条件等の応募資格や公募情報は、ウェブサイトで最新の公募要領をご確認ください。

事業 HP : <https://www.amed.go.jp/program/list/20/02/002.html>

問い合わせ先 : [interstellar@amed.go.jp](mailto:interstellar@amed.go.jp)

2025年募集 : 4月15日（火）～5月22日（木） 13時00分 ※日本時間
- 地球規模保健課題解決推進のための研究事業（日米医学協力計画の若手・女性育成のための日米共同研究公募）

日米医学協力計画ではアジア地域にまん延している疾病に関する研究を日米両国で共有して行う。日本側サブチームの研究開発代表者（PI; Principal Investigator）が日・米（・アジア）から成る全チームを代表して応募。

※国籍や居住条件等の応募資格や公募情報は、ウェブサイトで最新の公募要領をご確認ください。

事業 HP : <https://www.amed.go.jp/program/list/20/01/007.html>

公募情報 : [https://www.amed.go.jp/koubo/20/01/2001B\\_00103.html](https://www.amed.go.jp/koubo/20/01/2001B_00103.html)

問い合わせ先 : [nichibei@amed.go.jp](mailto:nichibei@amed.go.jp)

2025年募集 : 〆切 令和7年6月3日（火）（日本時間）
- 医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業 戦略的国際共同研究プログラム（SICORP）e-ASIA 共同研究プログラム

東アジアサミット参加国を対象とした多国間共同研究支援プログラム（米国はNIH/NIAID、日本はAMEDが参加）

※国籍や居住条件等の応募資格や公募情報は、ウェブサイトで最新の公募要領をご確認ください。

事業 HP : <https://www.amed.go.jp/program/list/20/01/003.html>

問い合わせ先 : [e-asia@amed.go.jp](mailto:e-asia@amed.go.jp)

2025年募集 : 3月末で〆切済

【日本への帰国、移動時に応募・利用可能】

- さきがけ

海外の研究機関に所属してさきがけに採択された後、日本の研究機関へ研究費を持ったまま異動することが可能。その際に研究環境の整備が必要な場合には、そのための追加的な研究費を申請することが可能。

応募時点で所属機関を持たない、採択時の所属機関が決まっていない、あるいは所属機関の都合で退職せざるを得ない研究者（国籍不問）であっても、日本国内で研究を実施する受入先機関を自分で探し、責任を持って研究環境を整備し研究を完遂できると JST が認めた場合は、「さきがけ専任研究者」として JST が雇用し、受入先研究機関で研究を実施することが可能。但し、受入先研究機関の事前承諾を得ていることが必須条件となる。海外研究機関を「さきがけ専任研究者」の受入先研究機関とすることは不可。

事業 HP : <https://www.jst.go.jp/kisoken/presto/index.html>

問い合わせ先 : [rp-info@jst.go.jp](mailto:rp-info@jst.go.jp)

2025 年募集 : 未定（例年は 4 月上旬～6 月上旬頃）

- 創発的研究支援事業

海外研究機関に所属している日本国籍を有する研究者（ただし、博士号取得後 15 年以下である研究者のみ対象。出産・育児・介護による特例あり）は、採択後、最大 2 年間は研究開始を猶予できる。ただし、猶予期間終了の直後までに日本国内の研究機関（企業等含む）に所属して本事業の研究を開始する必要がある。

なお本事業では、さきがけ、CREST に見られる戦略目標や、特定の課題、短期目標を設定していない。

事業 HP : <https://www.jst.go.jp/souhatsu/>

問い合わせ先 : [souhatsu-application@jst.go.jp](mailto:souhatsu-application@jst.go.jp)

2025 年募集 : 時期未定（例年は 8 月中旬～10 月中旬）。なお、2026 年度以降の応募実施の有無は未定。

- 科学研究費助成事業（国際共同研究加速基金（帰国発展研究））

帰国発展研究は、海外の研究機関等において、優れた研究実績を有する独立した研究者が、日本に帰国後すぐに研究を開始できるよう、研究費を支援するもの。

応募時点において帰国後の所属先が確定していない場合も応募可能。

事業 HP : [https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/35\\_kokusai/03\\_kikoku/](https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/35_kokusai/03_kikoku/)

問い合わせ先 : [kksi-kaken@jsps.go.jp](mailto:kksi-kaken@jsps.go.jp)

2025 年公募 : 時期未定（例年は 7 月中旬応募開始～9 月中旬応募締切）

- 医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業（Interstellar Initiative）

独創的なアイデアを持つ若手研究者を世界中から公募し、3名1組の研究チームを編成したうえで、研究チームはメンターの指導のもと、ワークショップや予備実験を通じて、研究構想を発展させ、独創的・革新的な研究シーズを創出するための研究計画の立案を目指す。

※国籍や居住条件等の応募資格や公募情報は、ウェブサイトで最新の公募要領をご確認ください。

事業 HP : <https://www.amed.go.jp/program/list/20/02/002.html>

問い合わせ先 : [interstellar@amed.go.jp](mailto:interstellar@amed.go.jp)

2025年募集 : 4月15日(火) ~ 5月22日(木) 13時00分 ※日本時間

【日本の研究チームの一員として海外に滞在】

- 先端国際共同研究推進事業 (ASPIRE)

ASPIRE に採択されている日本側研究チームに入り、「研究参加者」として海外の共同研究相手先に滞在可能。その際の旅費、滞在費、人件費、渡航先での研究に関わる研究用試薬・材料・消耗品費等や滞在時に発生する生活に必要な諸費用等を日本側の研究資金から支出可能。

また単独公募で採択された研究プロジェクトにおいて、パートナーとなる相手国研究機関に所属する若手研究者を含む研究者を、ASPIRE が支援している日本側の研究資金から旅費、滞在費、人件費等を支出する形で日本に招聘することが可能。

事業 HP : <https://www.jst.go.jp/aspire/>

問い合わせ先 : [aspire@jst.go.jp](mailto:aspire@jst.go.jp) (トップのための ASPIRE)

[aspirers@jst.go.jp](mailto:aspirers@jst.go.jp) (次世代のための ASPIRE)

2025年公募 : 3/3~5/12 正午

- 医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業 (先端国際共同研究推進プログラム ASPIRE) アライメント公募及び共同公募

国際共同研究を通じて我が国と科学技術先進国・地域のトップ研究者同士を結び付け、我が国の研究コミュニティにおいて国際頭脳循環を加速することを目指す。

【アライメント公募】

AMED が単独で、日本側研究者による相手国側研究者との国際共同研究課題を公募する形態。応募された課題提案を審査し、採択した課題において、AMED が日本側研究者を支援する。課題提案の条件として、国際共同研究を実施する相手国側研究者は、相手国側資金配分機関から何らかの支援を受けている、または今後支援される必要がある。

【共同公募】

相手国側資金配分機関と共同で国際共同研究課題を公募する形態。公募テーマは、本

事業の対象となる分野・研究領域から相手国側資金配分機関と調整して設定。日本側研究者と相手国側研究者の国際共同研究の提案を募集し、相手国側資金配分機関と提案を共同で審査し、課題を採択する。採択した課題において、AMED は日本側研究者、相手国側資金配分機関は相手国側研究者をそれぞれ支援する。

本プログラムにおける課題の公募・審査・採択・支援等は国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）と国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）で実施し、AMED は「健康・医療」分野を担当する。

事業 HP : <https://www.amed.go.jp/program/list/20/01/009.html>

問い合わせ先 : [amed-aspire@amed.go.jp](mailto:amed-aspire@amed.go.jp)

2025 年募集 : 米国が相手国となる公募は未定

- その他

その他、多くの JST 事業では、研究計画で認められている場合には、研究プロジェクトの実施のために直接必要な「研究参加者」の海外出張の旅費、滞在費等を支出可能。詳しくは、自分の参画している事業の担当者に問い合わせること。

- JSPS 事業における海外渡航などに使用できる研究費について

多くの JSPS 事業でも、JST 事業と同じく研究課題を実施するために直接必要な研究者の海外出張の旅費、滞在費等を支出可能。詳細は各事業の担当者に問い合わせること。

=====

- ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム（HFSP）

主として研究グラント事業を通じて、世界の科学者の国境を越えた革新的な協同研究への支援、また、若手研究者に対し、国際的な研究の機会をもたらすフェローシップ事業を行う。

事業説明 : <https://www.amed.go.jp/program/list/20/02/001.html>

注意 : AMED は、日本におけるヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム（HFSP）の広報活動を行っておりますが、プログラムの運営は国際ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム機構（HFSPo）が行っておりますので、プログラムの詳細、応募要領等のご質問は国際ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム機構（HFSPo）にお問い合わせいただきますよう、お願いいたします。

<https://www.hfsp.org/funding/hfsp-funding/research-grants>

